



第18回 あがたの森夏まつり

第18回あがたの森夏まつりが八月五日(日)にあがたの森公園正面通路で開催されました。

オープニングセレモニーでは並柳太鼓連による力強いパフォーマンスが披露されました。その後は地区の子どもたちによる青山様・ぼんぼん、各町会の出店等があり、会場には猛暑に負けない威勢の良い声飛び交っていました。



福祉ひろばまつり

第三地区福祉ひろばまつりが九月一日(土)〜二日(日)の日程で開催されました。今年は一日目にサークル発表とカラオケ大会が行われ、二日目には野菜・手芸品の販売や子どもたちのための「あそびのひろば」等があり、集まった皆さんは大いに楽しんでいました。



民生児童委員視察研修

第三地区民生児童委員協議会

会長 白井 裕子

第三地区民生児童委員協議会では、障がい者の支援施設である安曇野市穂高の「穂高悠生寮」に視察研修に行つてまいりました。

自然豊かで静かな環境の穂高悠生寮には、施設入所支援、生活介護、ショートステイ、グループホームからの通所などの利用者が60名ほどあり、松本市からの利用者も大勢おられるとのことでした。

20代後半から90代までの利用者がありますが、比較的高齢の方が多く、皆さんゆつたりとそれぞれのペースに合わせてお過ごしのような様子でした。靴下の端材でマットを編んだり、割りばしの袋入れなどの仕事を丁寧に行なわれながらされており、笑顔で説明してくださる姿がとてとても爽やかでした。

その後、「緑の丘の赤い屋根」で有名な、ラジオドラマのモデルとなった鐘の鳴る丘集会所(旧松本少年院有明高原寮を移築)と、塀のない日本一開放的な男子少年院である現在の有明高原寮、碌山美術館を見学してきました。

色々な施設の見学や福祉事業の実態を学び、郷土の歴史や文化を知り、民生児童委員活動を充実させていきたいと思つていきます。



第三地区防災訓練に参加しましょう

第三地区避難所運営訓練のお知らせ

まちづくり協議会主催の第三地区避難所運営訓練が10月6日(土)に源池小学校で行われます。今年は源池小PTAと初めて共同開催します。

町会で避難訓練をした後に、源池小へ移動して「源池防災キャンプⅡ」での講演会、消防特殊車両や防災グッズの展示、がれき救助・煙テント・AED・緊急時トイレの体験など、各種防災イベントに参加します。その日の夜、源池小のみなさんは、実際に体育館・テント・自動車で宿泊します。また、地区の避難所活動班のみなさんは、それぞれの役割を確認し、いざという時に備えて課題を洗い出します。

自分の住む町会だけでなく、近隣町会や源池小のみなさんと一緒に「防災に親しみながら考える機会」にしたいと思いますので、大勢の方の参加をお願いします。(第三地区防災部長 勝家 正廣)



九月八日(土)にイオンモールで育樹祭がありました。第三地区まちづくり協議会が招待され、参加してきました。

イオンモール育樹祭

足のむくみを取るために心がけること、着圧ストッキングの正しい選び方や履き方、リンパマッサージのやり方等を詳しく教えていただき、参加者の皆さんは大変満足されていました。

リンパ浮腫講座

八月三十一日(火)に、第三地区公民館の生活文化委員会主催で、藤森病院の看護師・中澤こずゑ氏を講師に招き、高齢者の足のむくみやリンパ浮腫について、お話をいただきました。



第三地区の若い力!



四ツ谷町 峯村 怜奈 さん

年齢：21歳
職業：会社員

Q1 仕事について今思うことは？

Q2 仕事でやりがいを感じる事は？

Q3 自分の住むまち、第三地区についてどう思いますか？

Q4 松本が大好きだからです。今一番関心があることはなんですか？

Q5 ファッションやヘアメイクに興味があります。自分磨き頑張ります。

夏休み、東京へ遊びに行ってきた。小中学生の娘たちの目的は、原宿・渋谷でのショッピング。うだるような暑さの中、クレープを食べ、電球ソングを飲みシヨップピングを楽しんだ。



そんな娘たちに付き添った私が印象に残ったのは、世界最大級といわれる渋谷のスクランブル交差点。一回の青信号で横断する人数は約3000人とか。それだけの人がぶつかることなく渡る様子は、外国人観光客にとって不思議な光景に映るらしく、観光スポットとなっているようだ。私も外国人観光客にまざり写真を撮るパシヤリ。

ところ変わって松本、イオンモール前スクランブル交差点。渋谷に比べ規模は100分の1程度か。しかし、渡るのに意外と気が抜けない。自転車の数が多いせいかな。「危ない」と思う場面も何度か見かけた。お互い安全に気を付けていきたいものだ。

楽しかった東京、とは言え、空気も水もきれいな松本の方がやっぱりいいね、と言う娘たち。私も本当にそう思う。(谷口 陽子)